

音楽学部・人文学部教員年次研究報告書

(2003年1月～12月)

本学教員の教育研究活動の一部を学内外に報告することを目的して、例年どおり「研究論集」に「教員年次報告」を掲載いたしております。大学の自己点検・自己評価に役立てることができれば幸いです。(掲載はアイウエオ順)

【音楽学部】

石 村 真 紀

1. 「音楽の生成を核にした音楽教育の理論と実際」『日本学校音楽教育実践学会紀要』第7号 2003年3月
 2. 月刊誌『ムジカノーバ』音楽之友社 「ピアノ教師のための音楽療法入門」連載 2003年4月～2年間予定
 3. 季刊誌『ザ・ミュージックセラピー』音楽之友社 「音楽療法入門編」連載 2003年7月～2年間予定
- *主な活動：高槻赤十字病院小児科部 音楽療法士
音楽療法士認定審査委員、日本音楽療法学会評議委員
 - *主な研究課題：学習障害および ADHD への臨床
音楽療法における即興性と表現活動の臨床的意義

小 栗 まち絵

1. ベートーヴェン：ピアノとヴァイオリンの為のソナタ全曲チクルス 第2回 2003年2月16日 神戸松方ホール、ベートーヴェン：ピアノとヴァイオリンの為のソナタ第2番イ長調、第6番イ長調、第9番“クロイツェル”イ長調
2. ベートーヴェン：ピアノとヴァイオリンの為のソナタ全曲チクルス 第3回 2003年6月19日 神戸松方ホール、ベートーヴェン：ピアノとヴァイオリンの為のソナタ第3番変ホ長調、第7番ハ短調、第10番ト長調
3. サイトウ・キネン・オーケストラコンサート 2003年9月10日・12日・13日・14日 長野県松本文化会館 マルタン：7つの管楽器とティンパニ、打楽器と弦楽合奏のための協奏曲、ブルックナー：交響曲第7番ホ長調（ノヴァーク版）

＊主な活動：年2回の「いずみシンフォニエッタ大阪」定期演奏会における現代作品、新作初演等の演奏。

岸 邊 百百雄

1. 京都市立芸術大学退任記念コンサート 2003年5月15日 京都府立府民ホール・アルティ J. S. バッハ：無伴奏パルティータ 第2番ニ短調 BWV 1004、F. シューベルト：弦楽五重奏曲 D. 956
2. 広島アカデミー合奏団 モーツァルト協奏曲シリーズ No. 9 2003年11月18日 エリザベト音楽大学セシリアホール W. A. モーツァルト：ピアノ協奏曲 第15番 K. 450 ヴァイオリン協奏曲 第1番 K. 207 ホルン協奏曲 第4番 K. 495 ピアノ協奏曲 第27番 K. 595

＊主な研究課題：a. ヴァイオリン演奏法 b. ヴァイオリンを含む室内楽

斎 藤 達 男

1. 「斎藤建寛リサイタルシリーズ Vol. 6」2003年6月2日 ザ・フェニックスホール、バッハ：無伴奏チェロ組曲第6番ニ長調、コダーイ：マジャール・ロンド、ピアソラ：ル・グラン・タンゴ他
2. 砂田全寿呼 ヘンデル：フルート・ソナタ集 CD制作 2003年11月発売
通奏低音を担当
3. LALA「音楽の翼」Vol. 7 2003年12月11日 ザ・フェニックスホール、千原英喜：蔓くつる（無伴奏チェロのための）初演、諸橋玲子：玄くくろ（無伴奏チェロのための）初演

高 橋 滋 子

1. 第10回「21世紀日本歌曲の潮流」において、歌曲「晩秋」と「亡き夫に捧げし歌」（新作）が演奏される。2003年5月29日 すみだトリフォニーホール（東京）
2. 第9回「日本現代音楽展」において、「弦楽四重奏曲」が演奏される。
2003年8月8日 東京文化会館小ホール
3. 「関西フルートオーケストラ第9回定期演奏会」において、「Spring Spring Spring——7本のフルートのための——」が、フルートオーケストラバージョンで演奏される。2003年11月3日 京都市東部文化会館

田 辺 良 子

1. 田辺良子ヴァイオリンリサイタル 2003年5月24日 久保惣記念美術館
Ei ホール、サンサーンス：序奏とロンド・カプリチオーソ フランク：ソ
ナタイ長調、他
2. アフロディテ四重奏団定期演奏会 2003年9月27日 西川室内楽サロン
ブラームス：ピアノ四重奏曲1番ト短調、シューベルト：ピアノ五重奏曲
イ長調「鱒」
3. 田辺良子 ストリングアンサンブル演奏会 2003年12月6日 泉の森ホ
ール
レスピーギ：リュートの為の古代舞曲とアリア、チャイコフスキー：弦楽の
為のセレナーデ ハ長調、他

宮 崎 敦 子

1. 関西二期会「フランス歌曲の流れ」2003年4月23日 ザ・フェニックス
ホール マスネ作曲 エレジー他
2. 堺シティオペラ プッチーニ「三部作」2003年9月6日・7日 堺市民会館
3. 関西二期会「イタリア歌曲の流れ」2003年11月29日 いずみホール ケ
ルビーニ作曲 デモフォンテ他
その他、相愛コンサートに出演 2003年6月3日、10月17日

【人文学部】

新 井 俊 一

1. “The Sign of Rejecting the World”-Jodo Shinshu Standpoint on Ethics-
The Pure Land, New series, Nos. 18, 19, December 2002. 129-137.
2. 『「自然法爾章」における「獲得名号自然法爾」の構造論的考察』『瓜生津隆
真博士退職記念論集——仏教から真宗へ——』2002年3月 311-326.
3. 口頭発表「仏教的視点から見た『戦争と平和』論」宗教倫理学会、2003年
10月18日

＊主な活動：

- a. 英語と日本語による仏教セミナー、浄土真宗本願寺派シアトル別院（米
国ワシントン州）2003年8月4日～9日
- b. 英語による公開講演「歎異抄に聞く」2003年10月11日・11月8日、
本願寺聞法会館。

David Blake Willis

Publications

1. Looking into Pandora's Box : Notes from Japan on Ground Zero, Common Dreams, February 26, 2003, [http : //www.commondreams.org/views 03/0226-02.htm](http://www.commondreams.org/views/03/0226-02.htm)
2. Thappu : The Dalit Drum of Destiny in South India : An Oral History of Caste, Performance, and Liberation, with J. Rajasekaran, Soai Daigaku Kenkyu Ronshu (Annual Research Report of Soai University), Vol. 19, March 2003
3. Japanese Higher Education as Myth, World Studies in Education, WSE 4(2), 2003
4. Paper Presentation, Symposium Convenor, Commentator Comparative and International Education Society Annual Conference, New Orleans, USA, March 2003
5. Paper Presentation, Creole Studies Conference First Annual Conference, New Orleans, USA, October 2003

Activities

1. Teacher/Consultant, JICA, Japan International Cooperation Agency (Teach and Consultant on Japan for Foreign Participants for JICA), 1992-2003
2. Consultant and Panelist, Osaka 21st Century Project, Osaka City, 2003-2004
3. Advisory Board Member, English for the New Century in Kobe's Schools, Kobe City Board of Education, 2003-2004
4. Editorial Consultant, Advisory Board for Book Series : "Globalisation, Comparative Education and Policy," Routledge Publishers, 2003-2005
5. Associate Editor, Journal of the Japan Society for Educational Administration, Japan Society for Educational Administration (JSEA), 2002-Present
6. Trustee, Japan-America Intellectual Forum, 2001-Present
7. Senior Advisor for International Relations, Kobe Design University, 2001-2003
8. Border Crossings : Learning in a Transcultural World. Book project that

focuses on our transcultural world, multicultural education, transnational identities, and diasporic practices (Under contract by Teachers College Press, Columbia University)

江 草 浩 幸

1. "Modification of depth and distance perception caused by long-term wearing of left-right reversing spectacles" Makoto Ichikawa, Takahiko Kimura, Hiroyuki Egusa, Makiko Nakatsuka, Jun Amano, Tomomi Ueda, & Takara Tashiro Perception Vol. 32 2003

* 主な研究課題： a. 刺激－反応適合性効果
b. 色彩の心理的效果
c. 複数の感覚にまたがる注意の瞬き

Cox, Teresa

* 現在の研究課題：

From March 2003 I was engaged in the study of language in US television news reporting, specifically the media coverage of the invasion of Iraq, focusing on the use of game, sports and entertainment expressions in reporting and how this shapes viewers' cognitive frames.

梶 谷 健 二

1. 共著「青少年相談機関からみた最近の青少年問題－提言」大阪府青少年活動財団編『大阪府青少年白書－平成 14 年度版－』2003 年 3 月
2. 共著「非常災害時におけるく子どもの心のケア」のために」文部科学省編 2003 年 8 月

* 活動状況： a. 文部科学省による「スクールカウンセラー」ワーキンググループ委員（スクールカウンセラー事業の活用・充実）
b. 大阪府被害者対策会議代表者委員（被害者の支援活動）
c. （社）全国少年補導員協会理事（青少年の健全育成活動）

北 崎 契 縁

1. 「『白孔雀』国内文献作成担当・各文献に対するコメント作成」共著（ロレンス研究——『白孔雀』——）朝日出版社 2003 年 3 月
2. 「『越境者』に見られる「不均衡」を超えるもの－アンティマスクの意味」単

著（『ロレンス研究——『越境者』——』朝日出版社 2003 年 12 月

＊現在の研究課題：

『D. H. ロレンス書簡集』（初期、1912 年のもの）の翻訳作業に携わっている。また、ロレンスの紀行集に焦点を絞って論文を書く準備も同時に進めている。

北 野 裕 通

1. 「人間であること」『理想』No. 671 理想社

＊主な活動：a. 「非神秘主義——エックハルトと禅——」（『上田閑照集』第 8 巻）について発表（10 月、京都哲学研究会）

b. 「京都哲学研究会」5、10 月に開催（於：京大会館）

木 下 有 子

＊現在の研究課題：

a. 認知意味論の研究（特に、語の意味の問題、メタファー表現の意味）

b. ことばと文化との関わり

後藤田 輝 雄

1. 「産業政策のデザイン——比較優位の獲得と維持——」（足立幸男・森脇俊雅 編著『公共政策学』）ミネルヴァ書房 2003 年 4 月

2. “Japan: From Miracle to Mediocrity,” in David Arase (ed.), The Challenge of Change: East Asia in the New Millennium. Research Papers And Policy Studies 44, Institute of East Asian Studies, University of California, Berkeley, 2003. ISBN 1-55729-079-2

鈴 木 徳 男

1. 「『俊頼髓脳』の本義」（『講座平安文学論究』第 17 輯）風間書房 2003 年 5 月

2. 『素寂本私家集 西山本私家集』（冷泉家時雨亭叢書第七十二巻）共著 朝日新聞社 2004 年 1 月

＊主な研究課題：歌学書の注釈的研究

＊主な活動：a. 『佛教文学』（仏教文学会誌）編集委員

b. 和歌文学会委員（関西例会事務局）

c. 俊頼髓脳研究会事務局

砂 川 博

1. 「一遍の『北陸遊行』」『時衆文化』第7号 2003年4月
2. 「波多野氏と他阿弥陀仏」『時衆文化』第7号 2003年4月
3. 「延慶本平家物語卷末部の編纂意識」『國學院雜誌』第104巻第8号 2003年8月
4. 「踊り念仏をめぐる和歌問答」『時衆文化』第8号 2003年10月
5. 「『道行きぶり』の平家伝承を読む」『日本文学』11月号 2003年11月
6. 「『一遍聖絵』の論点（続）」『一遍聖絵研究』岩田書院 2003年12月
7. 「『一遍聖絵』と『一遍上人縁起絵』の先後関係」『一遍聖絵研究』岩田書院 2003年12月
8. 「一遍と地藏信仰」『一遍聖絵研究』岩田書院 2003年12月
9. 『一遍聖絵研究』岩田書院 2003年12月

* 主な研究課題：a. 平家物語の成立研究

b. 『一遍聖絵』と時衆教団史の研究

* 主な活動：a. 研究誌『時衆文化』（年2回刊行）編集代表

b. 「時衆文化研究会」「一遍聖絵研究会」の主宰

孫 久 富

1. 「日中古代文芸観の比較——「志」と「心」の相違及びその文化的土壌——」『相愛大学論集』第19巻 2003年3月
2. 「『書経』の「夔」と『古事記』の「媛女」の性質をめぐる」『相愛国文』第16号 2003年3月
3. 研究会 京都国際高等研究所主催「東西の恋愛文化」の共同研究会で口頭発表「詩経の棄婦怨と万葉の怨恨歌の比較」

* 主な活動：a. 上代文学会理事に就任

b. 著書『日中古代文芸思想の比較研究』の原稿完成

千 葉 真 也

1. 「『古事記伝』一之巻の成立について」『国語国文』第72巻第2号 2003年3月

* 現在の研究課題：a. 『古事記伝』の成立を中心とする本居宣長の学問の実証的研究

鳥 井 正 晴

1. 「明暗評釈第一巻・第一章～第四十四章」和泉書院 2003 年 3 月

*現在の研究課題：a. 漱石の文学
b. 近代部会・文学論を読む会を主催

中 西 健 治

1. 「浜松中納言物語注釈覚書」『相愛国文』第 16 号 2003 年 3 月
2. 「浜松中納言物語の題名」『相愛大学研究論集』第 19 号 2003 年 3 月
3. 「篠山地方の歌まくら」『兵庫神祇』第 568 号 2003 年 10 月

*現在の研究課題：a. 浜松中納言物語全注釈の完成
b. 源氏物語梗概本の研究

西 口 順 子

1. 「女人成仏説にみる古代中世の女性と仏教」（池見澄隆・斉藤英喜編『日本仏教の射程——思想史のアプローチ——』）人文書院 2003 年 3 月）

*現在の研究課題：a. 中世公家社会における「家」と尼・尼寺の研究
b. 中・近世滋賀県における絵系図の研究

*主な活動：平成 14 年度科学研究費補助金基盤研究（B）（1）「尼寺文書調査を基盤とした日本の女性と仏教の総合研究」研究分担者として中宮寺文書調査を実施

西 迫 成一郎

1. 「問題の認識と統制感が主観的健康感と心理的ストレスに及ぼす効果」『相愛大学研究論集』第 19 号 1-16 2003 年 3 月
2. 「人との関わり方」中里至正・松井 洋・中村 真 編著『社会心理学の基礎と展開』ナカニシヤ出版 121-136 2003 年 4 月
3. 「社会的公正さの判断基準の分析——社会的公正判断過程に関する研究（1）——」（共著）『関西大学総合情報学部紀要 情報科学』第 19 号 83-96 2003 年 8 月

*現在の研究課題：メンタルヘルス 社会的公正感

橋 元 淳一郎

1. 「rotE をいかに教えるか——電磁気学とベクトル解析——」『相愛大学研究論集』第 19 巻 2003 年 3 月

- 2.『電磁気学ノート』講談社 2003 年 4 月
- 3.『カメレオンは大海をわたる』早川書房 2003 年 6 月

*現在の研究課題：a. 時間論
b. 物理教育

橋 本 雅 之

- 1.「古風土記における地理と説話」『国文学』48 巻 14 号 2003 年 11 月
- 2.「童子女松原説話」における「恐人見之」と「愧人見」2003 年度万葉学会
学術口頭発表 2003 年 10 月 於神戸松蔭女子学院大学
- 3.対談「確かな世界に帰っていく物語」山田洋次・橋本雅之『あらはれ』6 号
2003 年 10 月

*主な研究課題：a. 古風土記の成立について
b. 日本神話の認識論

*主な活動：2003 年 6 月 古事記学会全国大会運営（大会担当理事）
2003 年 10 月 万葉学会全国大会運営・編集（編集委員）

初 塚 眞喜子

- 1.「発達臨床心理学と音楽療法についての試論」『相愛大学研究論集』第 19 巻
2003 年 3 月

*主な研究課題：a. 発達臨床心理学からアプローチする音楽療法
b. 発達障害児の自立と支援
c. 幼児期、青年期の心理臨床

*主な活動：和歌山県臨床心理士会・和歌山県教育委員会主催
「子育て支援公開講座」講師

藤 谷 忠 昭

- 1.「地域福祉におけるオンブズマン制度の意義——ある住宅コミュニティを事例に——」『社会学評論』第 54 巻 1 号 日本社会学会 2003 年 6 月
- 2.「公共空間としての Web における市民活動の特性——NPO 法人・情報公開
市民センターを事例として——」『年報社会学論集』第 16 号 関東社会学会
2003 年 6 月
- 3.『現代社会福祉辞典』（秋元美世・大島巖・芝野松次郎・藤村正之・森本佳樹
・山縣文治編 有斐閣）中、8 項目（「大きな政府／小さな政府」「革新自治
体」「政策科学」「政策過程」「政策決定」「政策実施」「政府間関係」「政府体

系) 執筆 2003 年 11 月

* 主な研究課題・活動状況：

『講座・福祉社会』第 12 巻『新しい共同性の探索——市民社会と政策システム——』（藤村正之・平岡公一編 ミネルヴァ書房 2004 年刊行予定）中、第 11 章「情報公開とアカウンタビリティ」執筆中

本 多 至 成

1. 「金子みすゞと仏教の自然観」『日本仏教学会年報——仏教と自然——』第 68 号 2003 年 5 月
2. 「『歎異抄』第 5 章について」相愛大学・相愛女子短期大学市民仏教講座 2003 年 9 月 20 日 於 相愛大学南港学舎

* 現在の研究課題・活動状況：

- a. 仏教と環境についての研究。敦煌仏教圏と文化交流の研究。
- b. 特別養護老人施設への訪問と介護活動の展開。終末期の癒しと医療の問題。

山 下 昇

1. 「書評 辻和彦著『その後のハックルベリー・フィン——マーク・トウェインと十九世紀アメリカ社会——』（溪水社）」『アメリカ文学研究』（日本アメリカ文学会）第 39 号 2003 年 2 月
2. 「フォークナーの〈緋文字〉——『エルサレムよ、我もし汝を忘れなば』における中絶と出産の相克」『フォークナー』（日本ウィリアム・フォークナー協会）第 5 号 2003 年 4 月
3. “Faulkner’s ‘The Scarlet Letter’: If I Forget Thee, Jerusalem as an Abortion Novel” *The Faulkner Journal of Japan* (The William Faulkner Society of Japan) No. 5 2003 年 9 月
4. 「書評 カレン・カプラン著、村山淳彦訳『移動の時代——旅からディアスポラへ——』（未来社）」『New Perspective 新英米文学研究』（新英米文学会）第 34 巻 178 号 2003 年 11 月

* 現在の研究課題：1. 「ジェンダーとアメリカ文学」

2. 「ハーレム・ルネサンスの女性作家」

山 本 和 明

1. 「『古今集通話』について・続紹」『古代中世和歌文学の研究』藤岡忠美先生

喜寿記念論文集刊行会編 和泉書院 2003 年 2 月

2. 「石川雅望『梅かえ物語』本文攷」『相愛大学研究論集』19 巻 2003 年 3 月
3. 「石川雅望『梅かえ物語』私論」『相愛国文』第 16 号 2003 年 3 月
4. 「京伝読本の〈明治〉——明治二〇年以前——」『文学研究』第 91 号 2003 年 4 月
5. 「諸国奇談集の一側面」『江戸文学』第 28 号 2003 年 6 月
6. 「〈古典〉再生——石川雅望『飛騨匠物語』小考——」『日本文学』52-10 2003 年 10 月

* 現在の研究課題：山東京伝戯作研究ならびに近世戯作の明治期享受史研究

山 本 幸 男

* 現在の研究課題：

a. 写経所文書の復原的研究

「奉写御執経所・奉写一切経司関係文書の検討——伝来の経緯をめぐって——」（『相愛大学研究論集』第 20 号 2004 年 3 月刊に掲載）を執筆。

b. 奈良朝仏教教学史の研究

「正倉院文書からみた奈良朝仏教教学史の基礎的研究」と題して、平成 16 年度科学研究費補助金（基盤研究 B(2)）を申請

c. 8 世紀の政治史

* 主な活動：正倉院文書研究会幹事（継続）

続日本紀研究会編集委員（継続）

大阪市立大学日本史学会・編集委員（継続）